第61回長野県中学校総合体育大会
祝 優勝 竜東中学校男子ソフトテニス部

十二人で向かった中体連

竜東中男子ソフトテニス部
顧問　小澤　未来

十二人で向かった中体連、部員が掲げた目標は二つ『①緑ヶ丘中に勝つ、②北信越大会出場』どちらも昨年度の悔しさと成長を込めたものでした。顧問として、チームには『まわりから応援されるチーム』を願い、挨拶や整理整頓、礼儀など"オフザコート"を大切にしてきました。コロナ禍による時間の制限や雨による屋内練習の多い日々でしたが、置かれた状況の中でもラケットを振れる喜びを感じながら活動する部員の姿に「次はどんな練習をしようかな」と部活指導が楽しい毎日でした。県大会前には『不撓不屈の挑戦』をスローガンに、放課後は保護者の方の協力で校外のコートに移動し、やれる限りの練習を積みました。その結果、二つの目標を達成し、北信越大会に最高の形で進むことができました。「まだ十二人みんなでテニスができる」その喜びが一番大きかったです。夏休みは部活のほか、夕方にも集まって汗を流しました。北信越大会は初戦敗退でしたが、「ここまで思いきりやり切った」という達成感が強く、後悔はありませんでした。

記憶や心に残る、忘れられない熱い日々を過ごしました。竜東中テニス部を応援し、支えていただいた全ての方と子どもたちとの出会いに感謝します。ありがとうございました。

県大会初優勝と北信越大会出場
～やりきった部活～

部長　木下　遥

僕たちは入学時からコロナ禍の影響を受け、部活も、たびたび制限や中止になりました。それでも、庭や駐車場などでそれぞれが自主練習を続けてきました。

二年生のときは、当時三年生だった先輩と南信大会で団体優勝し、県大会ではベスト4でした。先輩を支えて試合に出た経験は僕たちの自信になりました。

県大会では、一～二年までの部員全員が一つとなり、勝ち進んでいきました。優勝した瞬間、感情がこみ上げてみんなで泣きました。優勝杯はとても大きく、ずっしりと重かったです。

北信越大会では、県外の強豪校と戦うことができ、力及ばなかったけど、どのペアも、今の自分たちのプレーが出来たと思います。

最後に、応援してくれた家族、顧問の小澤先生、学校のみんな、地区のみなさんに、お礼を言いたいです。ありがとうございました。

人形劇プレフェスタ

七月十六日(土)人形劇フェスタに先駆け「プレフェスタ」が千代公民館大会議室を会場として開催され六十二人の観客が詰めかけた。

出演は劇団くりきんとんで、演目は「おおきなかぶ」「バルバルさん」の二つ。どちらも、三人が人形遣い、一人がセリフ・歌・ピアノ生演奏を担当した。コミカルな歌と人形の動きに詰めかけた観客が見入った。

上演後は、劇団への質問コーナーと抽選会が行われた。質問コーナーでは、なぜ人形劇をやりたいと思ったのか、人形は何でできているのかなど、なかなか会うことのない人形劇団の方へ多くの質問が飛び交った。また、会場には人形劇フェスタのわいわいパレードで使われる大型人形も駆けつけ、入退場時に会場の雰囲気を盛り上げた。

その後、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、八月の人形劇フェスタは中止。プレフェスタは人形劇の夏を感じられる貴重な機会となった。

イナズマ

温室効果の原因として、近年猛暑や豪雨など、様々な異常現象が発生しています。その中でも今年は特におかしな天気ではないでしょうか。記録上最も早い北海道の桜開花や季節外れの猛暑日、日本列島を襲った台風と記録的な大雨や観測史上最速の梅雨明けなど上半期だけでもおかしな天気と言えるでしょう。

北海道で今年三月時点で帯広では一・二度と統計開始以来、六番目に高い平均気温となり、桜は四月二十二日に開花、四月二十五日に満開と統計開始以来最速で咲き進みました。異例の猛暑日は群馬県伊勢崎市で六月二十五日に最高気温が四十・二度に達して、六月の記録として歴代一位の高気温となっております。六月の一ヶ月で見ますと、熱中症で病院に運ばれたのが全国で一万五六五七人、死亡者数十七人と統計を取り始めた二〇一〇年以降最も多い数を記録しました。上半期での記録的な大雨では七月では珍しく台風が上陸し、高知県では短時間に集中豪雨をもたらす線状降水帯が発生して土砂災害が起きました。高知県須崎市では、三時間で二百八ミリの雨を記録し、観測史上最多となっています。このように上半期時点で異常気象が連続して発生しておりますが、下半期も引き続き例年と違う気象・天気となりそうですので、防災にはくれぐれも気を付けて日常生活を送りましょう。

館報 千代

第324号

発行
千代公民館
編集
広報委員会
印刷
龍共印刷株式会社

＜千代の人口＞
令和４年７月末日現在

男	723名	（－４）
女	799名	（－２）
合計	1,522名	（－６）

第五十回記念米川ゴルフコンペ 寄付金を「しゃくなげの会」へ

七月五日(火)に「第五十回記念米川ゴルフコンペ」が飯田カントリー倶楽部に於いて開催された。

米川ゴルフクラブは川手重光を会長とし、会員三十名で構成されている。

当日は十八名の参加で九時半よりラウンドがスタートし、和気あいあいとした雰囲気のなかでプレーを楽しむことができた。

今回はチャリティーも兼ねており、表彰式で「しゃくなげの会」米川評議員、川手角夫氏に贈呈された。

【試合結果】

優　勝　木下　和美
準優勝　川手　康一
（敬称略）

館報・新聞情報交換会

八月三十一日（水）、Dブロック館報・新聞情報交換会（上久堅・龍江・千代・川路・三穂）が、龍江公民館で行われた。各地区の担当者約二十名が集まり、持ち寄った紙面を見比べたり、活動の様子について情報交換をした。

読者の興味をひきつける工夫として、シリーズ企画やQRコード付記事を載せている地区担当者が説明すると、会場のあちこちで感嘆の声があがった。また会議回数や方法、更には委員の選出方法が、全く異なっている事にも話題は及んだ。各地区の歴史や背景、制度成立の経過が語られ、参加者らは改めて近隣地区への理解を深めていた。

コロナ禍による行事中止が相次ぐ中での紙面作りは、どの地区でも頭を悩ませているようで、代替企画の考案が共通の課題であることも分かった。先の見通せない中で新しい広報の形を模索する良い機会ととらえ、より良い紙面作りに努める事を確認し合った。

長野県知事選挙

八月七日(日)に長野県知事選挙の投票と、即日開票が行われた。

全県の投票率は四十・九四％で、二〇一八年を二・三四ポイント下回った。内訳は県内十九市のうち飯田市と伊那市を除く十七市と、五十八町村のうち四十八町村が前回を下回った。今回飯田市は四十二・四二％（前回四十一・五四％）だった。

全県の各候補者の得票率は、阿部守一氏八十八・八％、金井忠一氏九・八％、草間重男氏一・四％という結果だった。

なお今回の知事選に関して、飯田市選挙管理委員会の地区別および年代別のデータは公開されていない。

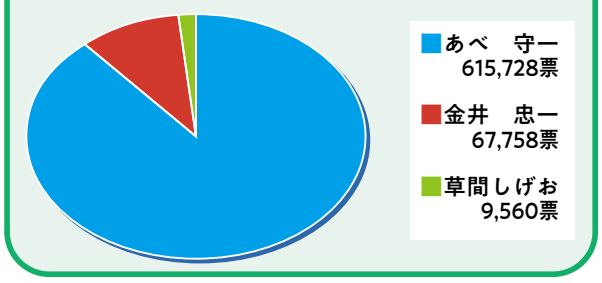
期日前投票に関しては、全県の有権者の十六・六五％が期日前投票を行い、前回より四万三六一人増加した。飯田市の期日前投票率は、十二・九二％だった。

期日前投票により、有権者の利便性は高まっているが、投票率との相関は見られない。

長野県知事選挙
令和4年8月7日（日）執行

	飯田市	全　県
有権者数	80,486票	1,706,682票
投票者総数	34,145票	698,735票
投票率	42.42%	40.94%

	飯田市得票数	全県得票数	全県得票率
あべ　守一	30,602票	615,728票	88.8%
金井　忠一	2,717票	67,758票	9.8%
草間しげお	531票	9,560票	1.4%



季節の味覚、いただきまーす!! なすのはさみ揚げ

食欲の秋到来！長年、保育園の給食調理を担当していた藤本あや子さん（下村）に、お家で簡単に作れる季節のレシピを紹介していただきました。

「なすの食感が苦手な人も多いですが、お肉をはさむことで子ども達もおいしく食べていたレシピです。ひき肉ではなく、ささみを使う事も簡単ポイントです。秋なすを使って是非作ってみてください。」

《材料（四人分）》

・なす……二ケ
・とりのささみ…八〇g
・卵……二〇g
・パン粉……二〇g
・小麦粉……一二〇g
・揚げ油……一六〇g

《作り方》

①ささみは四等分に切り、塩・コショウをふる。
②なすは縦半分に切り、へたの所まで切れ目を入れる。
③なすの切れ目に①をはさみ、小麦粉、卵、パン粉をつけて油で揚げる。
※好みでソース又はしょう油をかける。

そらさんぽ百景

天龍峡大橋も開通から約三年たち観光客の人数も、徐々にふえてきて天竜峡も大分にぎやかになってきました。

これから、夏から秋に季節がかわり、夏の景色から秋の紅葉となり、橋から見る絶景も又夏の景色とちがって、紅葉と天竜川のコラボが最高の絶景になると思います。

ぜひみなさんもコロナ対策をしっかりしてそらさんぽへ、足をはこんでみませんか。

告知板

○十月二十三日(日)
天龍峡マルシェ
○十一月一日(火)
ふるさと竜東のつどい
○十一月十三日(日)
千代地区文化祭
○十一月二十七日(日)
ふるさと講演会・公民館一斉清掃
※予定は九月十四日時点の内容です。変更となる場合があります。

戸籍の窓

お詫びと訂正

館報第三百二十三号にて掲載しましたお誕生コーナーに氏名の誤りがございました。お詫びするとともに、改めて掲載いたします。誠に申し訳ございませんでした。

○お誕生
清水　心晴（こはる）ちゃん
悠・康世　長女（八ノ倉）

○かなしみ
北澤　みづほ　一〇二才
克己　母（米川）
大渕　謙治　八十一才
ゑみ子　夫（米川）
小澤　今朝美　八十三才
智子　夫（米川）
川手　ゑつ子　九十五才
良則　母（米川）
清水　清治　八十三才
良子　夫（下村）
島田　清子　八十七才
勝義　妻（米川）